

小細胞肺癌

CBDCA+VP-16+デュバルマブ療法

進展型 小細胞肺癌 カルボプラチン+エトポシド+デュバルマブ療法レジメン

LC-52

総コース数

<21 日間隔 : 4コース>

治療日		第1日目	第2日目	第3日目	第4日目	第4~21日目	第22日目
治療内容							
検査	採血	○					○
診療	副作用の問診	○					○
	検査結果	○					○
治療中止基準	①Neu. <1500 ②血小板<100000 ③Hb<9.0 ④発熱・CRP上昇 ⑤PS 2以上 ⑥G2以上の肺臓炎 ⑦副腎クリーゼの疑い ⑧G3以上の皮膚障害・神経障害 ⑨AST、ALT>5×ULN ⑩T-Bil>1.5×ULN ⑪G2以上の下痢 ⑫甲状腺機能障害の疑い ⑬自己免疫疾患の発症疑い						
点滴	① 生食 50ml 点滴静注【全開】	↓					↓
	②生理食塩250ml +イミフィンジ 1500mg 点滴静注【60分】 フィルター付きルートで	↓					↓
	③ 生食 50ml 点滴静注【全開】	↓					↓
	④生食100ml +アロカリス 1V +パロノセトロン 1V +デキサート 3.3mg 2A 点滴静注【30分】	↓					↓
	⑤生理食塩液 100ml +デキサート 3.3mg 2A 点滴静注【30分】		↓	↓			
	⑥生理食塩液 500ml +エトポシド 100mg/m2 点滴静注【90分】	↓	↓	↓			↓
	⑦生理食塩液 250ml +カルボプラチン AUC=5 点滴静注【1時間】	↓					↓
	⑧生理食塩液 50ml 点滴静注【全開】	↓	↓	↓			↓

看護のPoint!!

骨髄抑制と脱毛が起こりやすい。

特にエトポシドは血管外漏出すると大変!! 点滴中は漏れてないか確認 万が一もれていたら一旦中止して先生を呼ぶ

強力なステロイド軟膏を塗るならクロバタムールフロピオン酸エステル軟膏

免疫調節薬であるので、免疫関連の副作用が起こる

Infusion reactionに注意

主な副作用は皮膚障害、甲状腺機能低下、下痢、間質性肺炎

下痢の時はステロイドを使用（止痢剤ではない。大腸炎のため）